

営農ウィークリーNEWS

☆☆ JA共済連京都の農業活性化促進助成金を活用した2019年度の取組みを振り返り☆☆

JA京都中央では、JA共済連京都のJAおよび農業者が実施する農業活性化促進の取組み支援を目的とした「農業活性化促進助成金」を活用し、生産基盤や営農指導体制の強化、その他農業活性化につながる取組みを積極的に行っています。

2019年度は、ふれあい夏まつりの開催、ロゴ入りかんたんテント、みのり姫シールの購入、環境にやさしい防除技術の普及拡大、新規栽培品目「京おくら」の生産拡大への取組みに助成金を有効活用しました。

環境にやさしい
防除技術

京おくらの
生産拡大



ふれあい
夏まつり

ロゴ入り
かんたんテント

みのり姫シール



—TAC information— 向島特産「レタス」生育順調!!!



向島野菜出荷研究部が栽培する、特産「レタス」の生育が順調です。
4月上旬より出荷され、京阪神の量販店を中心に約1万5千ケース（6kg入り）の出荷を見込んでいます。
同研究部では、近年の異常気象下においても安定的に生産が可能な品種選定を目的として種苗会社の協力のもとに栽培試験を行っています。試験結果に期待をしています。



JA共済の
地域貢献活動

農業のために 地域のために 明日のために

侵入害虫クビアカツヤカミキリの発生にご注意ください！

令和2年3月16日
京都府病害虫防除所
京都府農林水産部農産課

生産園地において本種を見つけた場合には、直ちにお近くの農業改良普及センターまたは病害虫防除所までご連絡ください



クビアカツヤカミキリ成虫
浦野忠久氏（森林総合研究所）提供



クビアカツヤカミキリ幼虫
浦野忠久氏（森林総合研究所）提供

- ◆ 関東、中部、近畿、四国地方の10府県のサクラ、モモ、ウメ等で侵入害虫クビアカツヤカミキリの被害が拡大しています。
- ◆ 京都府内での発生は確認していませんが、隣接する大阪府、奈良県では確認されており、今後、京都府内でも発生する可能性がありますので、発生に十分警戒してください。

■ 成虫

原産地は中国。体長は、約2.5～4センチ。
全体的に光沢のある黒色で、胸部は赤色です。

■ 寄主作物

モモ、ウメ、カキ、サクラなど

■ 生態と被害状況

- (1) 幼虫がモモ、ウメ、サクラなどの生木の内部を食害し、樹勢を低下させます。その際、うどん状のフラス（木くず）を排出します（3～10月頃）。**被害が激しい場合は、枯死に至ることもあります。**
- (2) 幼虫は、幹の中で2～3年かけて成長し、蛹となります。
- (3) 6月中旬～8月上旬頃にかけて成虫となり幹の外へ脱出します。



幼虫が排出する
うどん状のフラス



幼虫が食害した被害樹断面



成虫の脱出痕
(羽化した跡)